

創立110周年 記念座談会

テーマ「絆・若者・県人会」

座談会参加者（あいうえお順）



司会 **三遊亭 楽市**
《岐阜市出身》
三遊亭円楽門下
この秋、真打に昇進
予定



青山 浩司
《加茂郡出身》
住宅建材メーカー勤務



稲葉 恒平
《岐阜市出身》
フォトグラフィアー



今井 英治郎
《岐阜市出身》
建築家



岡本 竜太
《高山市出身》
大学4年生
(4月からIT企業)



高橋 孝治
《加茂郡出身》
電材商社



津田 理美
《多治見市出身》
フリーの歌手



長尾 圭也
《加茂郡出身》
保険会社



森田 敦史
《埼玉県幸手市出身》
企業コンサルタント



吉田 隆徳
《川辺町出身》
メロンパン製造・販売

オブザーバー

- 神谷拓雄 県人会広報委員長
- 松井茂久 県人会広報副委員長 元青年部長
- 原田英明 県人会広報副委員長 WEB部長
- 井戸誠典 県人会広報委員

【座談会】

2月10日夕刻、神谷広報委員長の挨拶からスタート。

★挨拶

昨年の漢字一字に「絆」が選ばれたように、今ほど連帯とか絆が強く求められているときは少ない。特に東日本大震災で厳しい試練にさらされた地域に住む人は勿論、年々厳しくなる一方の就職戦線に立ち向かっている若者の中には、藁をも掴む気持ちで絆を探し求めている人も多いだろう。県人会という組織は、年も違つ、地位も違つ、趣味も、学歴も・・・違つた人たちがたつた一つの共通項「生まれ、育つた県が一緒」ということだけで集まっているいわば、「絆を求め、分かち合う」原点とも云える存在です。こういうことを念頭において忌憚なく討論して欲しい。

『東京 岐阜県人会』

★趣旨説明

座談会は、記念行事の一環として行われること、座談会は全部で3回予定され、この座談会はその第一弾の催しであること、メンバーは県人会の会員であるか否かでは選んでいないこと、岐阜県を外からの目で見られる人も加えて選んだつもりであること、このほか110周年を記念し、冊子やHPの新たなページを製作予定であること等。(井戸)

★共有してみよう 岐阜について知ってること

樂市 まずは、110周年という歴史について考えることから始めましょうか。西暦で言うところの1902年、明治35年ですね。県人会の産ぶ声は？

三遊亭 樂市



神谷

日清戦争に勝ち、国全体として国力・海外進出気運が盛り上がっている時代。その時に、岐阜からも東京へと出て来る人が増えていったことがきっかけとなって、岐阜県人会が作られたのではないだろうか。当時は既に、県庁は岐阜市にあった。明治の初期は笠松にあつて「笠松県」と呼んでいた。昔から岐阜には天領がおおかつた。そのため、藩意識つまり飛騨人とか美濃人とかいう意識が低く、根付きがなかった。

井戸

その名残もあり、現在の岐阜県人は、岐阜出身ということにこだわりがなく、必然的に県人会としての繋がりが弱いままで続いってきた。本当に熱心な方のみが細々と運営をしてきたといえる。だからこそ、これを機に、繋がりを深く拡げていこうといういろいろな努力している。

原田

岐阜の特徴はクリエイター系が多いことだと思つ。長良川など、きれいで大きな川が多かつたために染色が主要産業として存在してきた。そこがクリエイター気質の起源では？その反対と、また、目立つことがダメとされた風潮が強かつたこともあり、保守的でもあつた。

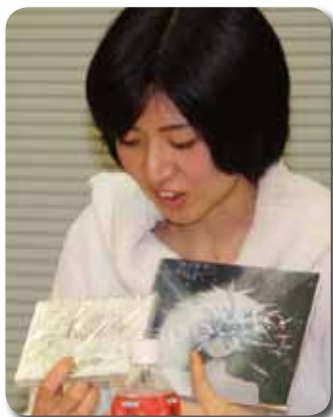
樂市

津田さんの歌手活動もクリエイター仕事の一種ですよ？

津田

はい、少し自己紹介させてもらいますと、この度独立をし、フリーの歌手として活動していくこととなりました。今回この会に参加したのは、この会を通して少しでも新しい繋がりが持たらと思つたからです。

津田 理美



樂市

歌の中で「岐阜をPR」していけたら面白いですよ。

津田

そうですね。いずれ出来たらと思つています。

★弱いPR力

原田 岐阜が保守的でもあつた結果、外に對するPR力の弱さが目立つ。

楽市 では、PR力について考えて見ましよう。

岐阜で有名なことは何だと思えますか？

吉田 日本の中心に位置する

飛騨牛も最近都内でも増え始めている。流通範囲の狭さはまだありますが。

津田 栗きんとん、柿

稲葉 鶏ちゃん。岐阜市ご当地B級グルメ

フェスティバルが2月5日に開催された。新名産品を生み出してPRしていこう、という気概は県内にはある。

稲葉 恒平



岡本 ベーグル屋、「エルクアトロギヤッツ」

は、全国パン祭りでも3位に輝いた。楽天市場でも好評ですよ。

吉田 水資源が豊富。もっと水自体を売れば

いいのでは？日本の中央という立地を考えれば、明らかに物流コストは抑えられる。そのコスト安を活かして、生産と物流を上手くやっていけば盛

り上げることができるとは思えないか。ところで、どなたか岐阜ブランドの水を知ってますか？

一同

.....

神谷

「高賀の水」という国際的な賞を貰っているレベルの水があつて、デイズニールランドや成田空港に置いてあるはずだ。

吉田

一般の流通には全く乗ってないようですね。見たことがない。物流のミスと言えるかも。関連することとして、何かしらの生産工業が岐阜には沢山あるが、本社はほとんどなく、県外の色々な企業のサポーターになってしまっているという現実がある。

吉田 隆徳



森田

「特徴がない」ことが特徴 かもしれない。個性がないとも日本の縮図とも言える。それをもっとプラスなコピーで発信していけないか

★ピクチャーとしての岐阜の魅力

楽市 岐阜を画的に見るとどうでしょうか？

稲葉 映画の撮影が増え始めている。最近だと「キツキと雨」や実写版「ヤマト」がある。

森田 「日本のハリウッド」を目指すのはどうか？（笑）

稲葉 悪い案ではないかも。飛騨の山は、もちろん画的にとっても魅力的だが、美濃地域も人口密度が低いので映画を撮影する上での障害が少ない環境といえる。映画というものは、架空の場所が舞台の場合、ロケ地が断定しやしないと撮りづらい。その意味では、「ブランド化されていない」ことが「ブランド」になりうるかもしれない。その他、撮影事業を主体にした地域活性化事業としては、「岐阜美少女図鑑」が挙げられる。他県の美少女図鑑と比べて、県内での反応が高かった。いい例になるのでは？

吉田 それは、他に有力な広告媒体が少ないから流行っただけ。そこにしか広告が打てない企業もたくさんある。逆の例が愛知県。広告媒体が多すぎるため、

美少女図鑑である必然性がなかった。

森田

もっと全体で1つの大きな目標を立てて、そこにエネルギーを集中するべきなのでは？極端な例が先ほど言ったハリウッド化や、空港誘致など。あと、名古屋に流れることが問題と聞いたことがあるが、その向きが逆になれば流れは大きく変わる。そのような大きな視点が必要かと。

森田 敦史



★東京岐阜県人会で郷土のためにできること

原田

郷土を思う気持ちが大きいからかと思つが、東京岐阜県人会としては、地元のことには岐阜に住んでいる人に任せ、もっと東京からの視点で話を進めていくべきではないだろうか？

楽市

なるほど。では、まだお話されていない方もいらっしやるので自己紹介も兼

今井

ねて、何か意見がありましたら。

仕事は、建築家です。その視点から見ますと、岐阜の家は敷地が広くて真四角な土地ばかりである。問題は全くないが、その分、アイデアを生かすづらい。必然的に大手ハウスメーカーが強くなり、多くの人が競争できる環境にない。儲けられない。だからその産業は育たない。一方で、東京の土地は狭かったり歪な形をしたものが多く存在する。問題は多いが、その分、工夫を施す余地がある。だから単純に財力だけでなく、アイデア次第で競争することが出来る。よって、パラドックス的ではあるが、岐阜は商売するのに適した地と言える。

今井 英治郎



楽市

飛驒の方はどうなってますか？

岡本

地元の建物を建築の視点で見た事はあまりないが、印象としては、山や川など様々な土地の上に家が存在して

青山

林業から始まった木材加工工業会社に勤務しています。例えば、「東濃ひのき」と言われる檜は、木曽ヒノキほどでは無いがブランド檜である。しかし、これも林業従事者間でのみ知られており、一般的ではない。外への発信力の弱さはここにもある。

青山 浩司



岡本 竜太

いる分、多種多様な作りになっている。また、基本的に、古い伝統的な建物が多く残っていて面白みはあると感じる。あまり美濃に行くことはないが、確かにJRから見る景色だけと言うならば、変わり映えのしない家が並んでいる印象はある。



高橋 営業で色々な地域に行った経験から

言いますが、岐阜には、「岐阜といえばこれ」というものが少ない。飛騨高山は別かもしれないが。もう一つ思うのは、新幹線駅の問題。岐阜羽島は本来もっと開発されても良いはず。他の地域では、新幹線駅はもっと発展している。

吉田

自分自身の商売展開の経験から言えば、農商工三位一体の商品開発などもっと考えていくべきだと思つ。この形で上手くいくと、政府からの補助金なども期待できる。東京岐阜県人会でも協力できるものの1つでは。

★原点に帰って、

東京岐阜県人会の意味とは？ —もっと欲しい若者の参加—

吉田

私は川辺町という小さい町出身ということもあり、岐阜出身の方々と会う機会に遭遇すればきわめて貪欲になる。会つた際にはとことんふれあいを求めて意見を交換する。おかげで今では私が声を掛ければ、10人20人と集まることもある。このあたりを県人会はどう考えているのか？

長尾

そもそもどうという意義で岐阜県人会

が存在しているのかがまったく掴めない。公開されている情報も少ないし、20000円という会費も何に使っているのが明確でない。懇親会など2000円以上払わなければ参加できない会にも出席しにくい。もっと情報を見る側の目線に立つて、情報公開をしていくべきではないか。全てはそこから。

長尾 圭也



神谷

その情報の提供や、県人同士の情報交換のために「岐阜ネット」やホームページを作っている。年会費は2000円という抑えた額でやっている。その会費と広告収入で、年に2回の機関誌の発行、毎月1回のホームページの更新等を行っている。年に2回開催している懇親会は参加費をいただいて運営をしている。

岡本

飛騨の人間は、美濃に比べて結束が強い。例えば、東京有斐会の集まりでは、18歳から70歳までと幅広い年齢層が

集まり、350人に及ぶ大きな会となる。この際の費用は大人50000円、

学生10000円。学生も、元々もっと払うつもりで参加していた。つまり、本当に興味がある会であるならば、費用は関係ないのではないか。ちなみにこの会では、2次会3次会と続いたため、大人の方々は1万円以上出費された方もたくさんいる。それでも、若い人達に少しでも来てもらいたい有斐会を盛り上げてもらいたいという想いから、定期的に開催している。20000円という数字が安いとか、高いとか、そういう次元の話ではない。

飛騨の人間に対してどう考えているのかわからない。今回も飛騨の人間は僕一人であった。話の内容も美濃地域のことばかり。確かに観光で飛騨は潤っているとは言え、「岐阜県人会」と名乗るのであれば、もっと飛騨を取り込んで考えていくべきではないのか？

楽市

テーマもハッキリしたものがなく、皆さんも参加していて戸惑われたと思いますが、今回得られたことも色々あるうかと思えます。具体的な案は何一つでなかったが、元々それを期待したわけではなかったし、こうやって1回目を開催することが出来たことの意味が大きい。これをスタートに2回、



全員揃ったところで白熱する座談会

3回と中身の濃いものにしていただきたいと思います。広報委員会にお願いですが、次回もっと明確に議題、流れを決めて会議を始める必要があるでしょうね。それではお疲れ様でした。

- **メゾンドゆい** (H24.4～住宅型有料老人ホーム届出予定)
- **Dr. Orishige ビオメゾン 住宅型有料老人ホーム** (H21.4開設)

社団法人全国有料老人ホーム会員

株式会社レザミひだ — 関連法人 地域医療30年医療法人同仁会 —

〒506-0053 岐阜県高山市昭和町2丁目85-1 TEL0577-37-0800

URL <http://lesamishida.com>

見学やご相談につきましても 随時承っております。
お気軽にお問合せくださいませ。

○お問合せ番号: **0577-37-0800** 午前9時～午後5時

体験入居 ◎1泊 7,250円 (3食付)

**飛騨高山に 体験入居 (要予約) に
いらっしゃいませんか♪**